

世界に広がる「母子手帳」

日時：2026年2月21日(土)

13:00~14:30

場所：武雄市役所1Fホール

日本で誕生した母子健康手帳(以下、母子手帳)は、戦後の困難な時代に知恵を絞って生み出され、地域の人たちの努力によって全国に広がっていきました。1980年代に小児科医として電気も水道もないインドネシアの農村で活動するなかで、私は母子手帳のすばらしさに気づかされました。インドネシア人医師と協働して、現地の言葉で手帳を作り、10年以上かかりましたが、インドネシア全土に普及できました。いま世界で50を超える国や地域で、各々の文化に適合した母子手帳が作られています。一冊の手帳というシンプルな技術が、記録を通じて親と子の命を守る仕組みとして、国や文化を超え、多くの家庭に受け入れられています。講座では、皆さんご自身の母子手帳にまつわる物語も聞かせていただき、私からはアジアやアフリカの国ですんでいるデジタル母子手帳のお話もさせていただきます、楽しい交流の場にしたいと思います。

講師 **中村 安秀氏**

日本 WHO 協会理事長
大阪大学名誉教授



問い合わせ

学校法人旭学園 新大学設置準備事務局
TEL 0952-37-0203(直通) <https://www.asahigakuen.ac.jp/tau/>

主催：学校法人旭学園 共催：武雄市



次回は3月20, 21日

講師：宗本 晋作氏

「武雄アジア大学のキャンパスと建築(仮)」